

科目名称：	造形表現指導法 I	
担当者名：	森田 ゆかり、太田 望	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
◎ 造形活動を通して子ども・他者への理解を深める。 ・造形活動における全般的な発達・道筋を踏まえた上で、個々の「表現」や「思い」を読みとり受容できるよう‘みかた’‘考え方’を養う。 ・実践の場で子ども・親子・利用者などの活動を支援するため、年齢や実態に即した活動内容・環境・対応などを考える。 ・「3つのD」のサイクルの中で学び、環境構成、コミュニケーション、支援の力を身につける。		
授業の達成目標・到達目標		
・感じたことや考えたこと、学んだことなどを、自分なりに表現することができる。 ・子ども（人）の気持ちを読み取り、その子（人）らしさを認めることができる。 ・子どもの心身の発達に即して、様々な素材・用具・技法を応用して使うことができる。 ・子どもの姿（表情・行動・言葉）を捉え、記録し、次の活動に活かす技術を身につけている。 ・「保育」の見方・考え方が広がり、造形活動（表現活動）の意義や課題を見出すことができる。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP (3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身につけている。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP (1)					0
幼児教育DP (2)					0
幼児教育DP (3)					0
幼児教育DP (4)			70	30	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》森田 アートスクール講師（2歳児～小学生の絵画・造形指導）	《経験年数1》2年6か月
	《内容2》森田 アートディレクター（子ども対象のワークショップなど企画・実践）	《経験年数2》4年10か月
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
指導案作成（デザイン）	多様なこどもの姿をイメージし、こどもが主体性を発揮し、遊びが展開するよう工夫している。	具体的なこどもの姿をイメージし、興味・関心を引き出せるよう工夫している。	具体的なこどもの姿をイメージし作成している。	こどもの姿がイメージできていない。作成にあまり参加していない。
主体的・計画的取り組み（事前学修を含む）	授業の目標を理解し期待以上の主体的な学修が見られる。	授業の目標を理解し主体的・計画的に取り組んでいる。	授業の目標を理解し主体的・計画的に取り組もうとしている。	授業の目標を理解しているが主体的・計画的に取り組めない。
グループワーク・プレゼンテーション（ディスコース）	他者の考えを尊重し、自分の考えを他者が納得できるように伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えを論理立てて伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えも伝えることができる。	自分の考えが他者に伝わらない。活動にあまり参加していない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 「新しい集団・新しい人間関係」に対する気持ちの確認「特化造形表現」のねらい・構成・年間計画	シラバス、『KINJO特化造形表現 実践のまとめ 第15号』を読んでおく。	30分
第2回 「感じる」プロジェクト①	『美育文化ポケット 第25号～第28号』の指定のページを読み、事前に出された課題を提出する。	30分～
第3回 レッジョ・エミリアの幼児教育から学ぶ① VTR 『レッジョエミリア市の挑戦』	『KINJO特化造形表現 実践のまとめ 第15号』を読んでおく。	30分
第4回 コミュニケーション・ワークショップ、対話による鑑賞①（グループワーク）	事前に配付する資料を読んでおく。	15分
第5回 対話による鑑賞②（グループワーク）	事前に配付する資料を読んでおく。	15分
第6回 「感じる」プロジェクト②	『美育文化ポケット 第25号～第28号』の指定のページを読み、事前に出された課題を提出する。	15分
第7回 レッジョ・エミリアの幼児教育から学ぶ②（グループワーク）	第3回の授業内容を復習。	15分
第8回 レッジョ・エミリアの幼児教育から学ぶ③「ドキュメンテーション」「3つのD」	第3回、第7回の授業内容を復習。	30分
第9回 「感じる」プロジェクト③	『美育文化ポケット 第25号～第28号』の指定のページを読み、事前に出された課題を提出する。	30分～
第10回 指導案を書く① 教材研究をもとに2,3,4,5歳児の活動を考える（グループワーク）	指導案を書くために必要な資料などを準備し復習。	20分
第11回 指導案を書く② 教材研究をもとに2,3,4,5歳児の活動を考える（グループワーク）	「保育内容表現Aの指導法」の指導案に関するワークシート・資料を読み復習。	20分
第12回 指導案を書く③ 教材研究をもとに検討（グループワーク）	「造形教材研究」のワークシートを整理しておく。	20分
第13回 指導案を書く④ プレゼンテーション・共有	指導案作成の要点（工夫・留意点など）を発表できるように準備。	20分
第14回 他大学の学生と交流授業（グループワーク / 電子黒板使用）	『実践のまとめ』バックナンバーの指定のページを読んでおく。	20分
第15回 他大学の学生と交流授業（グループワーク / 電子黒板使用）	『実践のまとめ』バックナンバーの指定のページを読んでおく。	20分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、上記内容以外に次回までの小レポートをまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
 指導案40%、事前学修課題およびワークシート30%（毎回配付されるワークシートを授業内で各自作成し提出）、グループワーク・プレゼンテーション30%、

課題に対するフィードバック

「ドキュメンテーション」をもとに、グループで「ディスコース」（必要に応じて全体で「ディスコース」）し、次の活動を「デザイン」する授業を行っている（レッジョ・エミリアの「3つのD」 KINJO特化造形表現モデル）。

教科書・参考書

教科書：『美育文化ポケット 第25号～第28号』 公益財団法人美育文化協会、『KINJO特化造形表現 実践のまとめ 第15号』
 参考書：『実践のまとめ』バックナンバー、『これで安心！保育指導案の書き方』開仁志編著 北大路書房、必要に応じてプリント配付